

施策評価シート

【施策の概要】

登録者(課長)名【1】		環境保全課長 田中 政治	
主管課(関係課)【2】		環境保全課	
施策名【3】		分野【4】	
環2-1 環境意識の向上		持続可能な環境に配慮した社会を確立するために	
環境意識の向上		まちづくりの方向性【5】	
環境意識の向上		環境にやさしいまちづくり	
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】
	環境問題に対する関心は年々高まっており、世界的な取組が進んでいます。地球温暖化などの環境問題の原因と影響は複雑であり、市民、事業者、行政が連携し、環境問題に総合的に対応することが必要とされています。本市では、環境基本条例及び環境基本計画に基づき、環境保全の取組を体系的に進めており、環境施策の実施状況の点検や環境マネジメントシステムの運用などに取り組んできました。また、エコプラザ西東京などを拠点として、市民や事業者が環境問題を理解し環境保全に自発的に取り組んでいくための環境学習活動を実施しています。今後は、市民一人ひとりが環境問題に取り組むために、市民活動団体などとも連携しながら、身近な環境問題を題材とした環境学習活動や情報提供などのさらなる充実を図り、市民、事業者、行政の環境意識を高めることが必要です。		環境を大切にすくみづくりや環境学習の推進を通して、市民、事業者、行政の環境意識の高いまちをめざします。
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】		
	◇平成26年3月に「西東京市第2次環境基本計画」を策定し、環境の将来像、基本方針とその取組みの方向性等を定めました。 ◇平成28年3月には、東京都環境基本計画の改訂が行われました。		
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】	
1	市民、事業者、行政の環境を大切にすくみづくりに努めます	市民、事業者への環境学習の機会創出や環境情報の提供	

【施策の成果】

			年度	24	25	26	27	28	29	
成果指標【12】	指標1	名称	「環境学習の場や機会の提供など環境意識の向上」に対する満足度	目標値	21%			単位	%	
		算出式・説明	環境問題に関する関心が年々高まる中、市が行っている「環境学習の場や機会の提供など環境意識の向上」の取組に対する評価を、市民意識調査の「市民満足度」により把握します。	実績値	17.3	17.3	17.3	17.1	17.1	23.2
		達成率		82%	82%	82%	81%	81%	110%	
		指標2	名称	環境マネジメントシステム認証取得の事業所数	目標値	40か所			単位	か所
	算出式・説明	事業者の環境意識を高めるために、環境マネジメントシステムの導入は重要です。認証取得の事業所数を増やすことを目標とします。	実績値	34	31	33	33	27		
	達成率		85%	78%	83%	83%	68%	0%		
	指標3	名称	環境フェスティバルの参加者数	目標値	7,200人			単位	人	
	算出式・説明	市民の環境意識を高めるために、環境フェスティバルの果たす役割は重要です。このフェスティバルへの参加者を増やすことを目標とします。	実績値	6000	8000	6000	3000	3000	3500	
	達成率		83%	111%	83%	42%	42%	49%		
	指標4	名称		目標値				単位		
	算出式・説明		実績値							
	達成率									
達成率の平均値					83%	90%	83%	69%	64%	53%

【市民意見】 【13】

24年度		27年度		29年度	
満足度(%)	17.4%	満足度(%)	17.1%	満足度(%)	23.2%
満足度(平均ポイント)	-0.06	満足度(平均ポイント)	-0.01	満足度(平均ポイント)	0.09
重要度(%)	63.7%	重要度(%)	64.9%	重要度(%)	67.5%
重要度(平均ポイント)	0.79	重要度(平均ポイント)	0.83	重要度(平均ポイント)	0.95

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	■ まだ未達成 □ ほぼ達成 □ 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	□ 平均を下回る ■ ほぼ平均 □ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	□ 弱くなっている ■ 以前と同程度 □ 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	■ 平均を下回る □ ほぼ平均 □ 平均を上回る	
検証項目	今後の方針	施策内容の方向性【20】	□ 拡充 ■ 現状維持 □ 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化 ■ 現状維持 □ 効率化	
総合評価		施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域	
【一次評価後の事情変更等】				
説明【23】				
【行革本部評価】				
総合評価	判断理由等【24】	施策内容の方向性【20】	□ 拡充 ■ 現状維持 □ 絞込み	
		施策実施コストの方向性【21】	□ 重点化 ■ 現状維持 □ 効率化	
		施策実施方針【22】	V 成果を維持しつつ、コストも現状を維持する施策領域	

環境意識の向上については、エコプラザ西東京を中心に市民や事業者の環境学習活動の場の提供に継続的に取り組んできました。市民意識調査結果では、前回調査と比べ、満足度・重要度に大きな変化は見られません。引き続き、エコプラザ西東京の認知度を高め、環境関連施設としてのアピールを積極的に行っていく必要があります。

【施策内の事務事業貢献度判定】

環2-1 環境意識の向上

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
1	環境マネジメントシステムの運用	環境保全課	環境マネジメントシステムの運用により、西東京市第二次地球温暖化対策実行計画における市の事務事業から排出される温室効果ガス排出抑制を図ります。
	環境保全の推進	環境保全課	西東京市第2次環境基本計画により定められた環境の将来像を実現するため、環境保全推進協議会と連携し、基本方針ごとに示された取り組みを推進します。進捗状況は環境審議会で報告します。
	環境情報の提供及び環境学習の実施	環境保全課	環境講座の開催、環境情報の収集・提供により、市民などへの環境意識の啓発を行います。また、環境講座を開催する市民講師の養成や環境学習教材の貸出しなどを行います。
	エコプラザ西東京の運営	環境保全課	エコプラザ西東京を環境学習の拠点施設と位置づけ、環境情報の提供及び環境学習の実施する場として整備します。
事業の合計			

総コスト(千円) : 評価年度【28】	事務事業の評価(直近)【29】		26市のサービス水準との比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度【32】	
	事業費	人件費				
4,155	0	4,155	継続実施 (平成23年度)	中	公共施設の環境負荷低減と環境保全事業の推進を進行管理し、継続的改善を行うことができます。	A
5,428	443	4,985	改善・見直し (平成28年度)	中	市民、事業者、行政で構成する環境保全推進協議会において意見集約することにより、適切に事業の進行管理を行うことができます。	B
10,330	4,514	5,816	継続実施 (平成21年度)	上	社会的に環境問題が重要視されており、環境講座やイベントなどの実施により、市民への環境問題への取り組みを促すことができます。	A
34,750	30,595	4,155	改善・見直し (平成28年度)	上	エコプラザ西東京を環境関連の拠点施設として整備することで、市民の自主的な環境活動などを支援することができます。	A
54,663	35,552	19,111				